

平成30年度   
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 文化庁

新進バレエダンサー育成並びに  
バレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

報告書

## ごあいさつ

日本バレエ団連盟は、昨年9月で法人設立から4年が経過いたしました。設立の翌年度より、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、海外優秀指導者による新進バレエダンサーへのマスタークラス開催と、バレエ団運営における基盤整備に向けた調査・研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面から人材育成を継続して行っています。

本年度、ダンサー育成としては、平成27年度より毎年継続して招へいしている海外の優秀指導者によるレッスンをを行い、その成果を一般に公開いたしました。

運営基盤整備に向けた取り組みとしては、日本のバレエ団に近い予算・組織規模でありながら、運営体制の整備・ダンサーへの給与支払い・民間からの資金調達等を積極的に行っている、アメリカの中・小規模の地方バレエ団における運営実態を調査するとともに、日本のバレエ団の現状を踏まえた実践的なセミナーを開催いたしました。

日本バレエ界においては、国内外での日本人ダンサーの活躍が著しい反面、芸術創造の主体であるバレエ団の経営基盤は脆弱な部分が多く、長い間、その環境整備が求められてきましたが、今、改革に向けて、各バレエ団が一步ずつ踏み出しています。

まだまだ多くの課題がありますが、日本においてダンサーやスタッフが心置きなく創造活動に専心できる環境の実現を目指し、引き続き、尽力させていただく所存です。今後とも、関係各位の一層のお力添え、ご指導を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、本事業にご理解を賜り、快くご協力をくださいました皆さまに、深く御礼申し上げます。

2019年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

---

# 目次

---

## ● ごあいさつ

## ● 事業概要

### 1章 マスタークラス実施報告

1-1 概要……5

1-2 ローラン・フォーゲル氏によるマスタークラス・公開レッスン……5

1-3 パトリック・アルマン氏によるマスタークラス・公開レッスン……11

### 2章 バレエ団運営に関する調査報告

2-1 日本におけるバレエ団運営状況……19

2-2 アメリカにおけるバレエ団運営の事例調査……25

2-2-1 調査の概要……25

2-2-2 アメリカにおけるバレエ団の運営の概況……26

2-2-3 バレエ団への聞き取り調査……27

(1) セントルイス・バレエ団……27

(2) バレエ・アリゾナ……42

(3) サラソタ・バレエ団……53

2-3 芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査……72

2-3-1 聴講セミナー概要 (デジタル・マーケティング・ブートキャンプ) ……72

2-3-2 聴講内容の報告……72

### 3章 セミナー実施報告

3-1 バレエ団運営スタッフ向け

「ファンドレイジングセミナー」……121

3-2 バレエダンサー向け

「基礎からはじめる確定申告セミナー」……124

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者 (2018/2019シーズン現在) ……131

---

# 平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

---

## 事業概要

### 1. 事業名

新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

### 2. 事業の趣旨・目的

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育ち、国際的に活躍している。その背景に、多くの優秀なバレエダンサーが海外に活躍の場を求めている現状があり、日本のバレエ団の運営基盤整備が求められている。

本事業は、日本バレエ界全体の芸術水準向上とさらなる発展を目指し、新進バレエダンサーの育成と、バレエ団運営に携わるマネジメント人材の育成を2つの大きな軸として、ダンサーと制作運営という両面から舞台芸術を支える人材の育成を行うものである。

新進バレエダンサーに対しては、プロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力の育成を図るために、海外優秀指導者によるマスタークラスを実施し、その成果を、将来プロを目指す若手ダンサーとその指導者に対しても公開する。また、ダンサーとしてのスキル向上のみではなく、副業や引退後の活動も見据え、社会で活躍できる人材を育成するために、社会人としての基本を身につけるためのセミナーを実施する。

マネジメント人材の育成としては、各バレエ団が運営体制の改革に踏み出すために参考となる海外事例を調査するとともに、日本において、各バレエ団の実態を踏まえた実践的なセミナーを実施する。

### 3. 事業の内容

#### (1) マスタークラスの実施

指導：ローラン・フォーゲル、パトリック・アルマン

対象：牧阿佐美バレエ団、東京シティ・バレエ団、スターダンサーズ・バレエ団、

貞松・浜田バレエ団（実施順）

## (2) バレエ団運営に関する調査

### ・アメリカにおけるバレエ団運営の事例調査

調査対象：セントルイス・バレエ団、バレエ・アリゾナ、サラソタ・バレエ団

### ・芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査

調査方法：デジタル・マーケティング・ブートキャンプ（ニューヨーク）への参加

## (3) セミナーの実施

### ・バレエ団運営スタッフ向け「ファンドレイジングセミナー」

研修企画：特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

講師：日本ファンドレイジング協会 准認定ファンドレイザー／

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）企画室企画助成課

シニア・プログラム・オフィサー 今野 真理子氏

### ・バレエダンサー向け「基礎からはじめる確定申告セミナー」

講師：星田税務会計事務所 星田 直太氏

## ■ 調査会議委員

安達 悦子（東京シティ・バレエ団）

井上 寛子（東京バレエ団）

岩永 智博（東京バレエ団）

尾崎 瑠衣

小山 久美（スターダンサーズ・バレエ団）

黒澤 希（牧阿佐美バレエ団）

小林 健太（小林紀子バレエ・シアター）

堤 悠輔（貞松・浜田バレエ団）

平野 綾那（スターダンサーズ・バレエ団）

諸角佳津美（井上バレエ団）

山本 千絵（東京シティ・バレエ団）

廣瀬 智子（日本バレエ団連盟事務局）

## 1章 マスタークラス実施報告

---

# 1章 マスタークラス実施報告

## 1-1 概要

あらゆるスタイルに対応できる技術と柔軟性を養うことを目的として、プロフェッショナルダンサーとしての活躍が期待される若手を対象に、世界的に高い評価を得ている優秀指導者によるマスタークラスを実施した。平成27～平成29年度に引き続き、モナコ・プリンセス・グレース・バレエ・アカデミー教師のローラン・フォーゲル氏、並びにサンフランシスコ・バレエ・スクール校長のパトリック・アルマン氏を招へいし、日本バレエ団連盟会員団体の4団体において指導を依頼した。また、その成果を、日本におけるダンサー育成環境の開発と整備の一助とすべく、将来プロを目指す若手ダンサーとその指導者に対して公開した。

## 1-2 ローラン・フォーゲル氏によるマスタークラス・公開レッスン

### 講師紹介

#### ローラン・フォーゲル Roland Vogel

ジョン・クランコ・バレエ・スクールで学び、シュツットガルト・バレエ団に入団。

『白鳥の湖』、『眠れる森の美女』、『ラ・バヤデール』などの古典バレエに主演、ジョン・クランコの『オネーギン』、『じゃじゃ馬馴らし』などの物語バレエをはじめ多くの作品を踊り、ダンサーとしてのキャリアの最後までシュツットガルト・バレエ団で活躍した。20世紀を代表する世界的振付家の数多くの作品に主演するとともに、J・ノイマイヤー、U・ショルツ、D・ビントリーらの新作の初演キャストも務めている。

1998年の長野冬季オリンピック大会の開会式でU・ショルツ振付『若い男』のパ・ド・ドウを踊り、1999



年には『オネーギン』のタイトルロールでブノワ賞にノミネートされた。

1999年から2001年にヴェルテンベルク州立歌劇場の教育訓練プログラムに参加、ジョン・クランコ・スクールでクラシック・バレエ教師の資格を取得した。ダンサーとしてのキャリアを終えると直ちに教師に転じ、マリカ・ヴェゾブラゾヴァに招かれモナコのプリンセス・グレース・バレエ・アカデミーの教師陣に加わる。以来、現在のディレクターであるルカ・マサラの下でダンサーの育成にあたり、スクールのために多くの作品を振り付けている。

「ヨーロッパ・ダンス」、カンヌ・ロゼラ・ハイタワー・のゲスト教師、また、中国、日本では様々なスクールにおいてワークショップ指導を行っている。北京の中国国立バレエ団にはゲスト教師として定期的に招かれ、クランコの『オネーギン』、『ロメオとジュリエット』、U・シヨルツの『第七交響曲』、『白鳥の湖』などを指導した。

東京のNBAバレエ団のコンクール審査委員会メンバー、ニューヨークのユース・アメリカ・グランプリの審査員を務め、2011年の第1回北京国際バレエ・コンクールにはゲスト教師として招かれた。2014年に振り付けた『オーゲンブリック』パ・ド・ドゥは、北京舞踏学院60周年記念のオープニングで踊られ、モンテカルロ・バレエ団の協力を得てプリンセス・グレース・アカデミーでも上演された。

## ● マスタークラス実施概要

対 象：5月21日（月）～25日（金）：牧阿佐美バレエ団

5月28日（月）～6月1日（金）：東京シティ・バレエ団

※期間中、1日あたり2クラスのマスタークラスを実施。

指 導：ローラン・フォーゲル

<マスタークラス指導の様子>



(牧阿佐美バレエ団)





(東京シティ・バレエ団)

## ● マスタークラス参加ダンサーへのアンケート結果

### (1) 回答者概要

牧阿佐美バレエ団：回答者21名（学習年数平均20.2年、在籍年数平均5.6年）

東京シティ・バレエ団：回答者28名（学習年数平均20.2年、在籍年数平均5.4年）

### (2) 理解度

（5段階評価：理解できた／ほぼ理解できた／どちらともいえない／あまり理解できなかった／理解できなかった）

牧阿佐美バレエ団：理解できた42.9%、ほぼ理解できた57.1%

東京シティ・バレエ団：理解できた64.3%、ほぼ理解できた35.7%

### (3) 満足度

（5段階評価：大変満足／満足／普通／不満／大変不満）

牧阿佐美バレエ団：大変満足57.1%、満足38.1%、普通4.8%

東京シティ・バレエ団：大変満足75%、満足25%

### (4) 満足度の理由に関する声～抜粋～

（満足度の理由、クラスでの気づき、今後のレッスンに取り入れたいと思ったこと等）

## 音楽性・表現力について

- ・バレエを踊る上で音楽がどれだけ大切か改めて気づいた。
- ・音の取り方一つで踊りが変わっていくことに改めて気づかされた。
- ・音楽の大切さや、内面的なものが外見にも影響するというを教えていただいた。
- ・音楽やパについて、今までとても曖昧な認識で踊っていたことに気づかされた。

- 音の取り方についての細やかな指導により、パの求めている意味や役割を理解できた。
- 音の取り方や、呼吸のタイミングが上手く組み合わせさっていない踊りはつまらない、ということに気づいた。
- 上半身が使い切れていなかったこと、音を感じられていなかったことに気づかされた。
- 音の使い方を感じさせてくれた。どのように体を使ったらどのように舞台上で見えるのか、わかりやすく説明して下さり、大変参考になった。
- テクニックやアンデオールの重要性も改めて感じたが、何よりも大きく表現することや積極性の事を指摘していただき、ダンスの根本の部分を思い出すことができた。
- 表情について、多くの指摘を受けた。日頃のレッスンから、舞台上に立っている意識を忘れず、表情まで含め全身で表現するようにしたい。
- 足の動きだけでなく、全身で踊る、ということについて考えさせられた。呼吸についても。
- もっと大きく強く身体を使わなければならないと気づいた。
- 思っている以上に下を見て踊っていることに気づかされた。
- 重心を置く場所によって、次の動きが変わることがよくわかった。
- アンシェヌマンの組み方が工夫されていて、音楽や基礎への理解が深まった。

## 基本の大切さ

- 忘れがちな基本的なポイントをしっかり注意して下さり、身になるクラスだった。
- 音の取り方や基本のアンデオールをしっかりと教えて頂くことができ、勉強になった。
- プリエの大切さに改めて気づかされた。
- 日々のレッスンでトレーニングしていくものが、舞台上に立った時の質の高さになるのだと改めて気づいた。

## 指導方法について

- お手本が大変美しく、とても勉強になった。
- うまくいかない理由を明確に説明して下さるので、納得しながらレッスンできた。
- 一人ひとりのことを丁寧に見て下さり、パワフルで楽しいレッスンだった。
- 日本人の身体づくりを理解した上でのアドバイスをいただくことができた。説明もとても分かりやすく、根気よく熱心にご指導くださった。
- とてもパワフルなクラスで、先生の指導への情熱とエネルギーを間近に感じた。
- 普段のクラスと違う視点からの注意が多かったため、多くの気づきがあった。
- 英語が良く分からない自分にもわかりやすく伝えて下さり、指導内容を実践できた。
- 2日ずつ同じレッスン内容にして下さっていて、1日目は順番を追うだけで終わってしまっていたアンシェヌマンも、翌日もう1度できたので自分の中で消化しやすかった。

## クラスによる効果の体感

- クラス後の体の引き上がり方が普段と全く違い、とても踊りやすかった。
- これまで、体の引き上げが全然足りていなかったことがわかった。
- 上半身や細かな筋肉の使い方などを教えて下さり、新しい身体の使い方ができるようになった。
- ひとつひとつの動きのアクセントを意識して、音楽にのっていくと、自然と身体がまとまって踊りやすい身体になった。
- 指導内容を実践していたところ、周りから短期間で踊りが変わったとの声があった。

## 今後活かしていきたいこと

- 基本の大切さを改めて認識した。基本に立ち返り、日々のクラスレッスンを重ねたい。
- 呼吸や音楽を感じて、普段のレッスンからもっと表現するようにしたい。
- 音楽をよく聞いて、踊りと音楽を調和させる練習を日々のクラスからしていきたい。
- 普段のレッスンから、生き生きと踊ること、魅せることを意識していきたい。
- 動作の前の呼吸や、アームスと脚のコンビネーションの意識を忘れないようにしたい。
- 日々のバレレッスンで、もっと肩や背中中のポジションを重視するようにしたい。
- ポジションをはっきり見せ、大きく動くことを忘れずにレッスンしたい。

## ● 公開レッスン実施概要

日 時：6月2日（土）10:30～12:30

会 場：芸能花伝舎 C1（東京都新宿区西新宿6-12-30）

指 導：ローラン・フォーゲル

実 技：東京シティ・バレエ団ダンサー 28名

見学者：39名（バレエ指導者16名、学習者23名）

## 見学者の声 ～抜粋～

- 音楽性や全身のコーディネーションの重要性をよく理解できた。（指導者）
- ダンサーへの注意のしかたが大変参考になった。ダンサーに響く言葉の選び方、イメージの持たせ方などのヒントがたくさん得られた。（指導者）
- アンシェヌマンの動きがとても美しく構成されていて勉強になった。（指導者）
- アクセント、めりはりの付け方、音楽とパのつながり等、音の使い方をもっと教えてよいのだと、参考になった。（指導者）
- 単調にならずに、音楽を身体で表現することの大切さがよくわかった。（学習者）

- 上体の使い方や、手足の運び方がとても参考になった。(学習者)
- 間近にプロのダンサーのレッスンを見ることができてとても参考になった。(学習者)
- 身体の正しい使い方を客観的に見ることができた。(学習者)

<公開レッスンの様子>



(写真撮影：鹿摩隆司)



## 1-3 パトリック・アルマン氏によるマスタークラス・公開レッスン

### 講師紹介

#### パトリック・アルマン Patrick Armand

マルセイユ生まれのパトリック・アルマンは、ルディ・ブライアンズと母のコレット・アルマンに教えを受け、マルセイユ・バレエ学校で学んだ。1980年にローザンヌ賞を獲得し、引き続きスクール・オブ・アメリカン・バレエとカンヌの国際ダンス・センターで研鑽を積んだ。1981年にフランス・バレエ・シアターに入団、1983年にプリンシパル・ダンサーに昇格。同年、ルドルフ・ヌレエフ共演によるベジャールの「さすらう若者の歌」でローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。1984年、ペーター・シャウフスの招きでロンドン・フェスティバル・バレエ（現イングリッシュ・ナショナル・バレエ）に入団し、ブルース・マークス監督の下、1990年にボストン・バレエに移籍するまで6年間、同団で踊った。



レパートリーには、アシュトン、バランシン、クランコ、マクミラン、プティ、テトリー、ファン＝マーネンによる振付作品の主役が多数含まれる。中でも、1988年にロンドン・フェスティバル・バレエが世界初演したナタリア・マカロヴァ版の「白鳥の湖」で、ジークフリートを演じたことは特筆に値する。イギリスの雑誌「ダンス・アンド・ダンサーズ」の投票により、彼は同年の年間ベスト・ダンサーに選出された。また、ボーボット、ブルース、サープ、ウィールドン等の振付家が彼のために作品を創作している。ゲスト・アーティストとしては、オーストラリア・バレエ団、バイエルン国立バレエ、ベルリン・ドイツ・オペラ・バレエ団、キーロフ・バレエ、小林紀子バレエシアターに出演している。2002年、マルセイユのコレット・アルマン・バレエ・スタジオの監督を引き継いだ。ゲスト教師としては、アムステルダム、フィレンツェ、ロンドン、ナポリ、東京、トロントのバレエ学校やバレエ団でたびたび教えている。

2003年、東京の新国立劇場において、小林紀子バレエシアターのために「ライモンダ」第3幕の共同演出を行った。2006年、ミラノ・スカラ座の教師及びバレエ・マスターに任命された。また、ザグレブのクロアチア国立劇場のために「ドン・キホーテ」のプロダクションを振り付け、2010年6月に初演された。

1998年から2009年までローザンス・バレエ・コンクールの審査員を務め、2010年からは同コンクールの公式男性コーチ及び教師を務めている。2010年にサンフランシスコ・バレエ学校研修生プログラムのトップに任命され、2012年9月1日に同校の副校長に就任。名誉座長を務めた2017年のスチューデント・ショーケース・ディナーにおいて、同校の校長に指名された。

## ● マスタークラス実施概要

対 象：11月12日（月）～16日（金）：スターダンサーズ・バレエ団

11月19日（月）～24日（土）：貞松・浜田バレエ団

※期間中、1日あたり2クラスのマスタークラスを実施。

指 導：パトリック・アルマン

<マスタークラス指導の様子>



(スターダンサーズ・バレエ団)



(貞松・浜田バレエ団)

## ● マスタークラス参加ダンサーへのアンケート結果

### (1) 回答者概要

スターダンサーズ・バレエ団：回答者17名（学習年数平均21.9年、在籍年数平均6.7年）

貞松・浜田バレエ団：回答者17名（学習年数平均24.8年、在籍年数平均12年）

### (2) 理解度

（5段階評価：理解できた／ほぼ理解できた／どちらともいえない／あまり理解できなかった／理解できなかった）

スターダンサーズ・バレエ団：理解できた94.1%、ほぼ理解できた5.9%

貞松・浜田バレエ団：理解できた52.9%、ほぼ理解できた41.2%、どちらともいえない5.9%

### (3) 満足度

（5段階評価：大変満足／満足／普通／不満／大変不満）

スターダンサーズ・バレエ団：大変満足88.2%、満足11.8%

貞松・浜田バレエ団：大変満足76.5%、満足23.5%

### (4) 満足度の理由に関する声～抜粋～

（満足度の理由、クラスでの気づき、今後のレッスンに取り入れたいと思ったこと等）

## 基礎の徹底

- 基礎の大切さを再認識した。
- 身体の芯からのアンデオールや、ひとつひとつの動きの軌跡を、いつも以上に丁寧に、そして徹底的に意識する機会となり、多くの気づきがあった。
- バレエに必要な基礎をひとつひとつ丁寧に教えていただき、一から見直すことができた。
- 自分がいかにターンアウトできていないかがわかった。
- 基本を大切にしたら、美しく、丁寧で的確なお手本から学ぶことがたくさんあった。
- バレエの基礎を徹底されていて、プリエを大事にするテクニックの強さとコーディネートを学ぶことができた。
- 繊細な足先の使い方が非常に勉強になった。
- 体や顔の角度、エポールマンを的確にすることの大切さを改めて強く感じた。
- アームスの大切さ、ポジションに戻ることの大切さに改めて気づくことができた。
- コンディションを整えるだけでなく、日々のクラスレッスンで強化していくべき部分が多いことに気づかされた。

## 指導方法について

- 的確かつわかりやすい指導が受けられた。
- 細やかな指導を受けることができ、大変ためになった。
- 全員を平等に見てくださり、悪い所は具体的に何が悪いのか、言葉だけでなく全身で表現して指導して下さった。
- ダンサー一人ひとりへの気配りを感じた。
- 注意することだけでなく、褒めてやる気を引き出すことも大切にされていた。
- 怒るのではなく、褒めながら指導くださったことがとても嬉しく、やる気が沸き、楽しみながらレッスンできた。
- 諦めずにとっても熱心に丁寧に教えてくださった。

## クラスによる効果の体感

- 全身の筋肉で踊っている感覚に気が付いた。
- ゆっくりしたテンポで行うバーレッションが、身体をつくる上でとても良いと感じた。
- バーレッションで、足の運び方や上半身の使い方をひとつひとつ丁寧にを行うことで、身体のラインを美しくみせることができるようになるだけでなく、自然と体の中心に軸が集まってくるようになった。センターで大きく動くためにも、これまで以上にバーレッションを大切にしていきたいと思った。
- わかりやすいシンプルな内容で、コンディションを整えながら、基礎を強化できるクラスだと感じた。
- 音の使い方や、身体の角度が曖昧なだけで使う筋肉が全然違うことを実感した。

## 今後活かしていきたいこと

- ターンアウトをしっかりすること、バーレッションの時から軸足をしっかり意識することを忘れずに、今後のレッスンに活かしていきたい。
- パの意味や、どのようにしたら理想の形に持っていけるのかなど、常に基本的なことを考えて、今後の日々のレッスンに臨みたい。
- エクササイズがとてもシンプルだったので、今後のリハーサル等にも活かして踊ることができる。
- 教えていただいた回転のテクニックのコツや、ジャンプのクオリティを、毎日気をつけて練習したいと思った。
- 技術的には大きな問題がなくても、音楽性・表現力にたくさん向上の余地があることに気づかされた。ポールドブラや、上半身をしなやかに使うことで、音楽的に表現できるよう、意識して日々のレッスンを重ねていきたい。
- 自分のレッスンはもちろん、生徒に指導する際にも、シンプルに基本に戻ろうと思った。



## ● 公開レッスン実施概要

日 時：11月17日（土）10:30～12:30

会 場：新宿村スタジオ WEST B202（東京都新宿区北新宿2-1-2）

指 導：パトリック・アルマン

実 技：スターダンサーズ・バレエ団ダンサー 27名

見学者：47名（バレエ指導者12名、学習者35名）

### 見学者の声～抜粋～

- プロでも、プロを目指す学習者でも、注意されることは同じであり、基本の大切さを改めて実感した。（指導者）
- 音楽性がありシンプルでロジカルなアンシェヌマンの組合せが参考になった。（指導者）
- 先生のお手本が大変美しくわかりやすかった。（指導者）
- 「音楽が何をすべきか教えてくれる」「ポジションやパの名前が何をすべきか教えてくれる」という、先生のメッセージが大変参考になった。（指導者／学習者）
- 身体の条件がパーフェクトでなくても、自分の身体を理解し、各自異なる正しいプレイスメントを見つけることが大切、という先生のお話が参考になった。（学習者）
- 床を押すことの大切さや、正確なポジションの大切さをよく理解できた。（学習者）
- 日頃のレッスンで活かしたいと思える様々なヒントを見つけることができた。（学習者）

### <公開レッスンの様子>





(写真撮影：鹿摩隆司)

## 2章 バレエ団運営に関する調査報告

---

## 2章 バレエ団運営に関する調査報告

### 2-1 日本におけるバレエ団運営状況

下記の項目について、日本バレエ団連盟の会員団体（全9団体）における、バレエ団運営状況および運営基盤整備に向けた取り組みの状況をまとめた。

- (1) 調査対象（団体名、活動開始年、法人格取得年）
- (2) バレエ団の運営基盤  
（ダンサー・スタッフの人数、事務所・稽古場の建物の賃貸／自己所有の別）
- (3) 公演活動概要（年間公演数、専有／提携劇場の有無）
- (4) 年間観客動員数（自主公演、委託公演、学校公演、その他）
- (5) バレエ団収入の内訳（公演チケット、公的資金、民間支援、その他の割合）
- (6) 主な寄附プログラム、会員制度
- (7) 主な広報ツールの活用状況
- (8) 運営基盤整備に向けた、新たな取り組みや工夫に関する声
- (9) バレエ団運営の課題に関する声

※ (1) ～ (7) については、データ掲載を控えさせていただきます。

## (8) 運営基盤整備に向けた、新たな取り組みや工夫に関する声

### SNSの活用について

- これまでの海外調査事例を踏まえ、Facebook、Twitter、Instagramの活用を開始した。
- 海外の事例に倣い、SNS発信用の写真・動画の撮影等について、ダンサーに協力してもらうことを増やすようになった。
- NYデジタルマーケティングセミナーの情報を参考に、SNSを重要な広報ツールとして活用し、Twitter、Instagramそれぞれの特長にあった内容で発信するようになった。
- 以前よりSNSの投稿を定期的に行うように心がけている。
- 海外公演中、現地へ同行したスタッフが、写真・動画・レポートなどを日本のスタッフへ送付し、SNS等を活用しリアルタイムで発信するようになった。

### 広告・マーケティング全般について

- Googleの広告活用を開始した。
- 年間公演ラインナップの発表、年間チケットの販売を開始した。
- WEBでのチケット販売にクレジットカード払いを導入した。
- 定期的にWEB制作会社からアクセス解析結果を取得し、訪問者のニーズに合わせた情報を発信し、観客の拡大に努めている。
- HP上に主催公演の特設サイトを作成し、事前にその公演の「見どころ」を発信することにより、HP閲覧数が向上した。
- HPの設計を見直した。
- HPのリニューアルに現在取り組んでいる。

### 観客拡大に向けた取り組みについて

- 地方のバレエ団として、同じ地域で活動を展開する企業とつながりを持ち、お互いの活動を活性化し観客拡大を試みている。
- カリスマ的アーティストとのコラボレーションにより、顧客の裾野拡大を図ったところ、通常より一般（オフィシャルチケット、プレイガイド等）のチケット販売比率が大幅に増加した。

### ファンレイジングについて

- ファンレイジングについて、具体的に何ができるか、検討をはじめた。
- 新たな寄付パンフレットの作成に現在取り組んでいる。
- トウシューズ基金について、PR方法を見直し（必要なトウシューズ数等のQA記載、目標額の見える化等）、WEB上でのカード決済を可能にした。

### その他

- 公演会場および事務所での支払いで、クレジットカード・電子マネー決済を可能にした。

## (9) バレエ団運営の課題に関する声

### 運営体制の整備について

- 運営スタッフが少なく、ファンドレイジングやマーケティングに手がまわらない。新たに優秀なファンドレイジング担当者やマーケティング担当者を雇用したいが、そのための人件費が捻出できないでいる。(複数団体からの声)
- チケット購入者により細やかなDMなどを届け、購入率を上げたいが、スタッフ数の恒常的な不足により、その業務を行うことができない。
- 寄付をいただいた方々や会員の方々などに対するフォローを丁寧にしなければいけないが、時間と手が足りない状態にある。
- 後継者育成について(経営陣・ミストレス等)。
- 優秀な人材に、後を継ぎたいと考えてもらうためにも、運営スタッフの体制や、経営基盤を整える必要があると感じている。

### 観客の拡大について

- SNSのアクセス数やフォロワー数は年々増えているが、その数が観客数につながっているとはあまり感じられていない。潜在的な顧客を、いかにして1回目の鑑賞につなげるかを課題と感じている。
- はじめて鑑賞して下さったお客さまに、リピーターとなっていただくためのアプローチを課題と感じている。
- お稽古事としてバレエを習っている方々が、十分に観客につながっているとはいえない現状がある。

### ダンサーの待遇改善について

- ダンサーたちが生活していける環境をつくること。公演回数が増えることによって得られる収入も必要だが、国からの援助も必要だと強く感じている。
- 所属ダンサーがバレエを続けるためにアルバイトをせざるを得ない。どちらが主なのかわからなくなるような実態がある。

### 付属バレエ学園について

- 付属の学園の生徒確保が年々難しくなっている。
- 生徒募集と現在所属する生徒たちが学校と両立して持続していける方法を模索している。



## 2-2 アメリカにおけるバレエ団運営の事例調査

### 2-2-1 調査の概要

アメリカには地域に根付いた中・小規模のバレエ団が、地方都市を拠点として数多く存在する。ニューヨーク・シティ・バレエ団やアメリカン・バレエ・シアターのような世界的に著名な大規模バレエ団に関しては、日々メディアを通してその動向が伝えられ、日本においても情報が得やすい。反対に主に地方都市を拠点とする中・小規模バレエ団については、インターネット上であっても情報を見つけるのは非常に難しい。しかし、予算や組織規模等の点で日本のバレエ団により近いのはニューヨーク・シティ・バレエ団やアメリカン・バレエ・シアターではなく、アメリカの中・小規模の地方バレエ団である。彼らは多くの日本のバレエ団と同程度の予算規模や組織規模であるにもかかわらず、ダンサーへ給与支払いを行い、民間からの資金調達も積極的に行っている。こうしたバレエ団の運営実態は、日本のバレエ団経営において有用な情報となるはずだ。

本報告書はアメリカの地方バレエ団の運営実態について、インターネット等による事前調査及び現地での聞き取り調査をもとに作成したものである。バレエ団運営実態に関する資料は乏しいため、情報の大部分は調査員による聞き取り調査の結果によるものとなった。調査対象はミズーリ州セントルイスを拠点とするセントルイス・バレエ団、アリゾナ州フェニックスを拠点とするバレエ・アリゾナ、フロリダ州サラソタを拠点とするサラソタ・バレエ団とした。聞き取り調査に応じてくださったのはセントルイス・バレエ団事務局長兼芸術監督の堀内元氏、バレエ・アリゾナ芸術監督のイブ・アンダーソン氏、サラソタ・バレエ団監督のイアン・ウェブ氏である。またサラソタ・バレエ団では、事務局長のジョセフ・ヴォルペ氏、マーケティング部長のジェイソン・エトローレ氏にもインタビューに応じていただいた。アメリカのバレエ団では、芸術監督が芸術面だけでなく経営面にも深く関わり、事務局長より権限が強い場合も多い。よって本調査で調査対象の中心としたのは、芸術監督と呼ばれる元バレエダンサーであり、現在は芸術面、経営面の両方で組織を率いている方々である。

この調査を通じて、どのバレエ団も拠点とする街やコミュニティの特性に合わせ、バレエ団を挙げてファンドレイジングやマーケティングを戦略的、かつ積極的に行っていることが分かった。

## 2-2-2 アメリカにおけるバレエ団の運営の概況

アメリカにおいては、芸術団体は民間のNPOという扱いであり、病院や教育団体などと同列の組織となる。アメリカで芸術団体は「ビジネス・ライクに運営され」<sup>1</sup>、その「活動は効率的に効果の最大化を追求するものである」<sup>2</sup>。とされる。

アメリカ政府の文化予算は少なく、また補助金も少ない。「小さな政府」と呼ばれるように、中央政府が文化支援において果たしている役割は小さい。フランス等のヨーロッパの国々では、政府中央集権的に租税を集め、芸術団体を支援する「大きな政府」型の芸術文化支援体制をとっているが、それとはある意味、真逆の方針である。

芸術団体を支援する中心はあくまで民間寄付や民間の財団である。国家による救済措置もないため、団体の存続は各団体の経営手腕にかかっている。

以上のことからアメリカにおけるバレエ団運営は、規模の大小を問わず以下の特徴が見られる。

第一に、バレエ団収入の全体から見て政府からの助成金の割合が非常に低いため、主たる収入源は寄付金とチケット収入である。

第二に、寄付金を集めることがバレエ団存続の必須条件であるため、ファンレイジングのためかなりの労力、時間が費やされる。芸術監督がファンレイジングに割く時間や労力は、欧州のバレエ団の芸術監督と比較して非常に多い。またアメリカのバレエ団の大きな収入源のひとつに理事からの相当額の寄付の徴収がある。

第三に、チケット収入の確保もバレエ団維持において必須である。特に『くるみ割り人形』はアメリカでクリスマス時期に非常に人気の高い演目であり、チケット収入の多くの部分を『くるみ割り人形』に依存するバレエ団も多い。アメリカの大多数のバレエ団において『くるみ割り人形』の公演数は非常に多く、チケットを売るためのマーケティングにどのバレエ団も工夫をこらしている。

第四に、バレエスクールの存在である。プロダンサーの養成機関ではなく、お稽古教室としてのバレエスクールをバレエ団が持ち、それを収入の柱のひとつとしているところも多い。

---

1 渋谷博史『アメリカの芸術文化支援－「小さな政府」と民間主導』（立命館経済学, 2011年）p.65

2 ibid.



## 2-2-3 バレエ団への聞き取り調査

本調査では2018年8月から11月にかけて、アメリカの地方バレエ団3団体（セントルイス・バレエ団、アリゾナ・バレエ団、サラソタ・バレエ団）の監督を中心に、聞き取り調査を行った。

### (1) セントルイス・バレエ団

1975年に非営利団体として設立。1999年に堀内元氏が就任する以前は、1年に1度、ゲストダンサーを迎えて公演を開催する程度の小さな地元バレエ団であった。現在では25名前後のダンサーを擁す、年にいくつもの公演を開催するバレエ団へと成長した。

ミズーリ州セントルイス：

セントルイス市の人口は約31万人。セントルイス大都市圏人口は約280万人。ミシシッピ川とミズーリ川が交わる地点にあり、古くから通商や工業で栄えた。現在も医薬品、自動車、エネルギー等の大企業拠点が置かれている。

#### ■ 聞き取り調査

調査日：2018年8月28日

事務局長兼芸術監督（Executive and Artistic Director） **堀内 元氏**

1980年、スクール・オブ・アメリカン・バレエ入学。1982年に、ジョージ・バランシンの招待で、ニューヨーク・シティ・バレエ団に入団。1989年にプリンシパルに昇格。2000年よりセントルイス・バレエ団の芸術監督。

<主なヒアリング項目>

- ・アメリカと日本のバレエ団運営
- ・セントルイス・バレエ団の規模と概要
- ・運営スタッフの重要性
- ・ダンサーの契約
- ・本拠地
- ・バレエスクール
- ・舞台スタッフ、オーケストラ
- ・ファンドレイジングイベントについて
- ・顧客情報とファンドレイジング、寄附を集める努力、企業スポンサー
- ・マーケティング、客層、チケットの価格設定、チケット収入と上演作品、定期会員
- ・NEA（全米芸術基金）や地方自治体からの助成
- ・運営の長期計画、経費の管理、経営発展の理由

## (2) バレエ・アリゾナ

バレエ・アリゾナは1986年に、慈善家アレン・ローゼンバーグ氏主導の下、アリゾナに元々あった3つのバレエ団を統合する形で発足した。発足から1992年までは、ミルウォーキー・バレエ団、ロンドン・フェスティバル・バレエ団等で活躍したジャン＝ポール・コメリン氏が監督を務めた。ハートフォード・バレエ団で監督を務めていたマイケル・ユトフ氏がその後を継ぎ、バレエ団を拡大したが、1999年に経営難を抱えた。2000年に現芸術監督であるイブ・アンダーソン氏がバレエ団を引き継ぎ、経営難を解消、バレエ団をさらに発展させた。古典作品、バランシン作品、アンダーソン氏の振付作品の上演が中心である。

アリゾナ州フェニックス：

フェニックス市の人口は約160万人で、全米で5番目に人口の多い都市である。フェニックス大都市圏人口は約470万人。砂漠気候であり、温暖な気候で知られ、現在は保養地としても人気が高まっている。

### ■ 聞き取り調査

調査日：2018年10月27日

芸術監督（Artistic Director） **イブ・アンダーソン**

デンマーク・コペンハーゲンに生まれ、デンマーク王立バレエ学校に入学。1972年にバレエ学校を卒業し、デンマーク王立バレエ団に入団する。1975年にプリンシパルへ昇格。1980年、振付家ジョージ・バランシンの招きにより、ニューヨーク・シティ・バレエ団にプリンシパルとして入団。1990年に同バレエ団プリンシパルを引退し、バランシン作品の指導者となる。2000年より現職。

<主なヒアリング項目>

- ・収入バランスと組織規模
- ・ダンサーの雇用
- ・スタジオカンパニー、バレエスクール
- ・ファンドレイジング
- ・公演と劇場について
- ・観客について
- ・舞踊評の減少とバレエ事情
- ・上演演目とマーケティング、マーケティングエージェンシー、マーケティング部
- ・地方自治体からの支援
- ・バレエ団運営全般

### (3) サラソタ・バレエ団

1987年にジェーン・ウェイドナー・ゴールドスタイン氏によって設立。1990年には監督を迎えた。2007年にイアン・ウェブ氏が監督に就任し、世界的に上演機会の少ない作品をレパートリーに加えるなどして、バレエ団を拡大。米国国内だけではなく国際的にも認知されるバレエ団として発展を遂げた。フレデリック・アシュトンの作品など、英国の振付家の作品を積極的に上演している。

フロリダ州サラソタ：

サラソタ市の人口は約5万6千人、サラソタ郡の人口は約41万人。温暖湿潤気候であり、保養地として有名である。また引退後に住む街として人気が高く、高齢者の多い街としても知られている。

#### ■ 聞き取り調査①

監督 (Director) **イアン・ウェブ氏**

英国・ヨークシャー生まれ。ランベール・スクール・オブ・バレエ、ロイヤル・バレエ学校で学び、サドラーズ・ウェルズ・バレエ団に入団。1989年に英国ロイヤル・バレエ団に移籍し、主にキャラクター・ロールを踊る。1996年に英国ロイヤル・バレエ団を退団。1999年にKバレエカンパニーのバレエマスターを務めるため来日。2年後にKバレエカンパニー副監督となる。2007年、サラソタ・バレエ団監督に就任。

<主なヒアリング項目>

- ・ 予算規模と収入バランス
- ・ バレエ団の概要
- ・ ダンサーの契約
- ・ 建物
- ・ バレエスクール
- ・ 客層
- ・ サラソタという街
- ・ ファンドレイジングについて
- ・ マーケティング部
- ・ レパートリーと集客
- ・ 『くるみ割り人形』
- ・ 定期会員
- ・ 経営危機の経験

## ■ 聞き取り調査②

サラソタ・バレエ団事務局長 **ジョセフ・ヴォルペ氏**

1990年から2006年に引退するまでニューヨークのメトロポリタン・オペラ事務局長。特にオペラ界においては著名な人物である。引退するまでの42年間にわたり、メトロポリタン・オペラにおいて様々な役職を務めた。2016年よりサラソタ・バレエ団の事務局長を務めている。

<主なヒアリング項目>

- ・サラソタという街
- ・運営面の改善
- ・収入バランス

## ■ 聞き取り調査③

サラソタバレエ団マーケティング部部長 **ジェイソン・エットーレ氏**

英国の大学でアートマネジメントを学び、その後、理事会の要請でサラソタ・バレエ団のマーケティング部に入ることとなった。バレエ団年間プログラムのデザインや執筆などを担当している、監督イアン・ウェブ氏と副監督マーガレット・バルビエリ氏の息子である。

<主なヒアリング項目>

- ・マーケティング部
- ・サラソタの客層
- ・チケットの販売率
- ・劇場
- ・フロリダの他のバレエ団
- ・デジタルマーケティング
- ・年間プログラム冊子
- ・定期会員について
- ・マーケティングエージェンシー
- ・古典作品以外を上演すること
- ・ファンドレイジング
- ・バレエを売ること

## 2-3 芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査

### 2-3-1 聴講セミナー概要（デジタル・マーケティング・ブートキャンプ）

芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査として、毎年1回、ニューヨークにて開催される以下のセミナーに、一昨年度・昨年度に引き続き調査員を派遣した。

#### <聴講セミナー概要>

セミナー名：デジタル・マーケティング・ブートキャンプ・フォー・アーツ

Digital Marketing Boot Camp for Arts（以下、DMBC）

開催日：2018年10月18日～19日

場所：タイムズセンター（ニューヨーク）

主催：キャパシティ・インタラクティブ（以下、CI）

※2008年に設立された、文化・芸術団体に特化したデジタルマーケティングのコンサルティング会社。



本セミナーは、数少ない芸術業界に特化した国際的なデジタル・マーケティング・セミナーであり、日々進歩するデジタル・マーケティング手法や事例の情報収集及び、芸術団体同士の交流・ネットワーキングの機会として、米国内外から、様々な分野の芸術団体の広報担当やマーケティング担当者が参加している。

### 2-3-2 聴講内容の報告

全12件のプレゼンテーションの中から、バレエ団運営の参考情報として特に有益であった下記6件のプレゼンテーション聴講内容を報告する。

#### <報告プレゼンテーション一覧>

- (1) マーケティングとユーザー体験～21世紀の教訓はミレニアル世代以外にも通用する～
- (2) Email 2.0～コミュニケーションツールとしてのEメールを見直す～
- (3) デジタル世界におけるストーリー・テリングの重要性
- (4) ウェブサイトの再設計に関する10の学び
- (5) Googleアドグラントプログラム
- (6) Googleによるチケット購入へのデジタルパス考察

※プレゼンテーションの概要については、「報告書ダイジェスト」をご参照ください。

## 3章 セミナー実施報告

---

## 3章 セミナー実施報告

### 3-1 バレエ団運営スタッフ向け「ファンドレイジングセミナー」

#### ● 背景・概要

現在、日本の多くのバレエ団は、運営面に資金的余裕を持たず、ファンドレイジングや広告・マーケティング、新たな作品づくり等に十分な投資をできないまま、少ない運営スタッフで事業運営を行っており、観客の拡大やダンサーの待遇改善が困難な状況に陥っている。

この状況を打開するために、バレエ団運営スタッフの参考となる海外の事例調査を進めてきたが、運営体制に人的余裕がない状況で、海外事例から得られた多くの知見をなかなか活かすことができている団体が多い現状がある。

そこで、基本に立ち返り、ファンドレイジングの実践に必要な基本的知識や、各団体における現状のビジョンや発信メッセージを確認し、今後の運営方針に役立てるための実践的な機会として、国内でのファンドレイジングセミナーを開催した。

研修内容は、日本における寄付文化の醸成や、ファンドレイザーの育成に向けた研修、ファンドレイジングに関するノウハウ・知見の共有に向けたネットワークの構築等に取り組んでいる日本ファンドレイジング協会に企画を依頼した。一般論にとどまらず、現状のバレエ団運営実態に即した研修内容とするため、講師には、舞踊関係の組織における勤務経験があり、日本バレエ界の現状への理解も深い、日本アーツカウンシルの今野氏をお招きし、参考となる芸術団体やソーシャルセクターの事例紹介を含めた説明を依頼した。

なお、「ファンドレイジング」という言葉は、民間非営利団体が活動のための資金を個人・法人・政府などから集める行為の総称であり、様々な範囲の定義で使用されているが、今回のセミナーでは、各運営スタッフが、支援性資金に限らない全体財源獲得の視点を持つことが重要であると考え、寄付、会費、助成金・補助金、事業収入等を含む、最広義な範囲を対象とした。



## ● 実施概要

セミナー名：「イチから向き合うファンドレイジング」

日 時：平成30年12月19日（水）午後3時～午後5時

場 所：芸能花伝舎 A棟1階 A2会議室（東京都新宿区西新宿6丁目12番30号）

研 修 企 画：特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

講 師：今野 真理子氏

### <講師略歴>

日本ファンドレイジング協会 准認定ファンドレイザー／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）企画室企画助成課 シニア・プログラム・オフィサー。東京芸術大学大学院美術研究科修了後、英国ウォーリック大学大学院欧州の文化政策と運営学ディプロマ修了。ダンス・カンパニー（勅使川原三郎+KARAS）での制作アシスタントを経て、国際文化交流機関、国際舞台芸術祭、国際美術展、公共劇場等にて文化事業の企画制作運営や助成プログラム運営に関わる。2014年4月より現職で、主に助成プログラムや人材育成事業の運営、調査、企画立案を担当。

## ● セミナー内容

- ・ファンドレイジングの定義と市場動向
- ・ファンドレイジングの「7つのステップ」の解説および事例紹介
  - (1) 組織の潜在力の棚卸
  - (2) 既存寄付者潜在寄付者の分析
  - (3) 理事・ボランティアの巻き込み
  - (4) コミュニケーション方法や内容の選択
  - (5) ファンドレイジング計画の作成
  - (6) ファンドレイジングの実施
  - (7) 感謝・報告・評価
- ・グループワークによる演習・意見交換
  - ①「ACTIONフレームワーク」を用いた共感メッセージの作成  
(Attention / Change / Trust / Imagination / Only one / Network)
  - ②「7つのステップ」の実施状況および、今後の取り組みに向けた意見交換

### <参加者>

日本バレエ団連盟会員団体である下記の5団体より、計8名の運営スタッフが参加した。

- ・井上バレエ団 : 2名
- ・スターダンサーズ・バレエ団 : 1名
- ・東京シティ・バレエ団 : 1名
- ・東京バレエ団 : 1名
- ・牧阿佐美バレエ団 : 3名



## ● 参加者の声 ～抜粋～

- 自らの団体が発信しているビジョンやメッセージを見直すよいきっかけとなった。
- お客さまや支援者の視点に立って、共感力の高いメッセージを考えることの重要性を改めて強く感じた。
- 参加した他団体のファンレイジングへの取り組み状況に影響を受け、もっと自団体でも取り組みを進めなければと思った。
- どのようなビジョンやミッションを打ち出していくにしても、ホームページ上における寄付の受け入れ体制は整えておいた方がよいと思った。(ホームページ上のトップページからわかりやすいところに寄付の窓口をつくっておく、WEB上のカード決済を可能にしておく、少額からの寄付を可能にする等)
- 支援の必要性を感じていただくために、バレエダンサーの収入の低さを説明する必要があるが、魅力的なバレエダンサーのイメージを壊したくないため、大々的には訴求することができず、難しさを感じている。
- オーケストラを中心に企業向けの寄付や支援の取り付けが進む中で、バレエは遅れているが、単純に歴史や経験の違いだけではなく、運営スタッフの意識の違いも大きいのではないかと思う。実演家と企業との橋渡し役ができるのは、事務局のなせる業であることを肝に銘じなければと思った。
- ひとりで何役もこなさなければいけない状況で、ファンレイジングに労力をかけても得られる成果が少なく、頭を悩ませている。日々のルーティン業務を見直し、様々な方策から効果的なアプローチ方法を模索し、寄付活動を進化させる必要性を痛感した。
- バレエ団の収益構造の改善や財務体制の強化による運営基盤の再構築が必須だと実感した。今後のセミナー等で、財務体系、収益構造、キャッシュフロー等の基本構造から、健全な組織運営の手法まで、組織の体質強化に向けたアドバイスが得られる機会があるとよい。
- 運営スタッフの人数が限られている状況で、プロボノの活用には可能性を感じる一方で、不安な点も多く、二の足を踏んでしまう。実際にプロボノを活用している企業からのアドバイスが得られる機会があるとよい。
- 企業からの支援拡大に向けた取り組みに難しさを感じている。先進的な企業や組織から、CSR推進企業との意思疎通に向けたアドバイスが得られる機会があるとよい。
- ファンレイジングにかかわるNPOや企業のネットワーク、情報交換の機会があることを、これまであまり意識してこなかった。さまざまなネットワークを活かして、新しい情報にアンテナをはり、新たな戦略立案や寄付制度の設計を進めていきたい。

## 3-2 バレエダンサー向け 「基礎からはじめる確定申告セミナー」

---

### ● 背景・概要

日本バレエ界には、学校卒業後すぐにバレエ団に所属し、一般社会人として社会のルールに関する基本的知識を習得する機会のないまま過ごしているダンサーが多数存在している。

しかしながら、バレエダンサーの社会的向上を目指す上でも、副業における活動や引退後の人生を考える上でも、ダンサーとしての立場に甘んじることなく、一般社会常識を備えた社会人として、人々と信頼関係を築きながら活躍できる人材を育成する必要がある。

一般社会常識の中でも、バレエダンサーの確定申告の理解度および申告状況については、各バレエ団の運営スタッフが以前から問題意識を感じてきた。

そこで、はじめて確定申告をするダンサー、毎年の確定申告で疑問を持っていたダンサー、ダンサーから質問を受ける機会の多い運営スタッフを対象に、確定申告について、基礎からわかりやすく解説するセミナーを開催した。

参加者へのアンケートでは、バレエ団からの収入が1割以下と答えた回答者が約半数、3割以下と答えた回答者は全体の約7割を占めた。また、回答者全員が副業をしており、ダンサーが副業をしなくとも生計が立てられるよう、環境整備を求める声も寄せられた。



## ● 実施概要

- ・セミナー名：「基礎からはじめる確定申告セミナー」
- ・日時：2019年2月14日（木）15～17時
- ・場所：芸能花伝舎 A棟1階 A2会議室（新宿区西新宿6-12-30）
- ・講師：星田税務会計事務所 星田 直太 氏（税理士）

### <参加者>

日本バレエ団連盟の会員団体である下記の4団体より、計20名が参加した。

- ・井上バレエ団：ダンサー8名（女性）
- ・スターダンサーズ・バレエ団：ダンサー5名（女性3名、男性2名）
- ・東京シティ・バレエ団：ダンサー6名（女性3名、男性3名）
- ・東京バレエ団：運営スタッフ1名

### <セミナー内容>

- ・個人にかかわる税金の種類（所得税・住民税・事業税・消費税）
- ・確定申告とは？（確定申告の基礎知識）
- ・本業と副業（事業所得と雑所得、事業所得の場合の届出）
- ・青色申告のメリット
- ・「収入」「経費」の考え方
- ・所得税計算のしくみ（医療費控除、ふるさと納税等を含む）
- ・確定申告書の記載例 等

## ● 参加者アンケート結果（全7項目）

アンケート回答者数：回答者17名／参加者20名

Q1. セミナーの満足度について、あてはまるものに○をつけてください。（5段階評価）

- a. 大変参考になった／ b. まあまあ参考になった／ c. どちらでもない／  
d. あまり参考にならなかった／ e. 参考にならなかった

A1. 大変参考になった：8名

まあまあ参考になった：8名

無回答：1名

Q2. 今回のセミナーへのご参加を決めた理由について、お聞かせください。(自由記入)

A2.

- ・ 確定申告をしたことがなく、基礎を教えてもらいたかったから。(3件)
- ・ 確定申告のことが全く分からず、今まで申告できていなかったから。(2件)
- ・ いつも確定申告をする際にわからないことがあったが、なんとなく申告していたから。(3件)
- ・ 家庭をもってしっかりしたいと思った。
- ・ 今まで父親に任せていたが、一人暮らしをきっかけに自分で申告しようと思ったため。
- ・ 今まではアルバイト先で年末調整をしていた。昨年頃からバレエ団の収入が増え、年末調整より確定申告を勧められたが、確定申告について何も知識がなかったため。
- ・ バレエ団からセミナーの案内があったから。(3件)
- ・ ダンサーに対してのセミナーなどは受けた事がなかったため。
- ・ 友人からの誘い。

Q3. 今年の確定申告は、何回目の申告になりますか？

A3. 図1の通り、はじめての確定申告を行う人が、回答者の約半数を占めた。

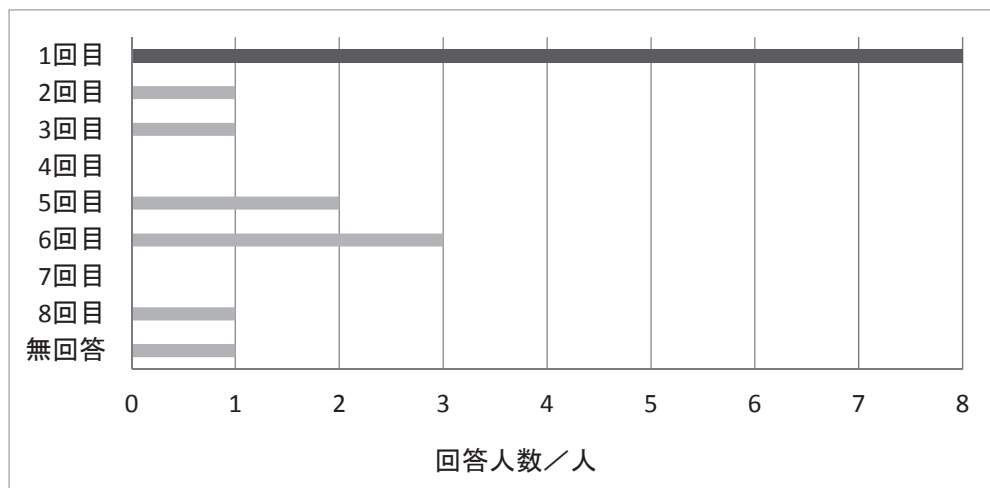


図1. 確定申告の実施回数

Q4. ご自身の収入の中で、バレエ団からの収入は何割程度ですか？

A4. 図2の通り、バレエ団からの収入は全体収入の1割以下であると回答した人が、回答者の約半数を占めた。また、3割以下と回答した人は、全体の約7割であった。

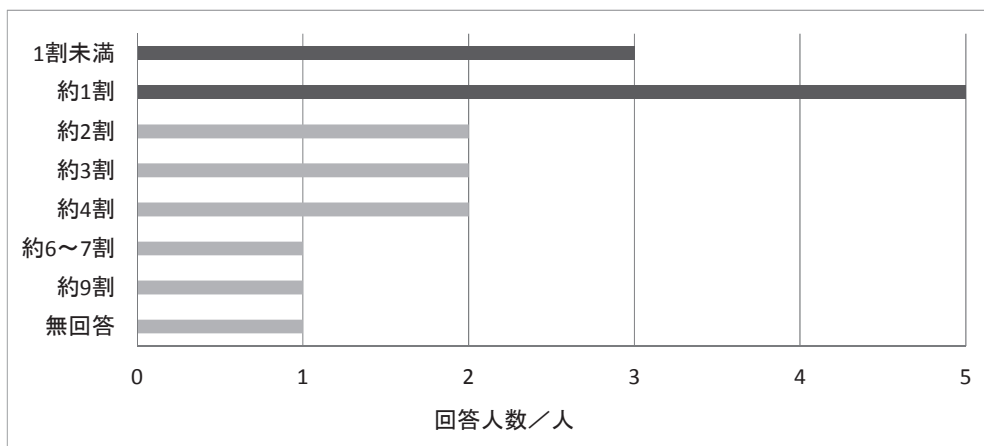


図2. 全収入に占める、バレエ団からの収入の割合

Q5. バレエ団以外の副業について、あてはまるものに✓をつけてください。

- 教室等でのバレエ指導
- 教室等でのバレエ以外の指導（ヨガ・ピラティス等）
- 外部団体の公演・発表会等へのゲスト出演
- その他アルバイト等（自由記入： ）
- 副業はしていない

A5. 回答者全員が副業をしており、ほとんどのダンサーはバレエ指導を行っていた。また、回答者の約半数は、バレエ指導とゲスト出演やその他のアルバイトをかけもちしていた。その他アルバイトとしては、コールセンター業務、一般企業での事務職の記載があった。

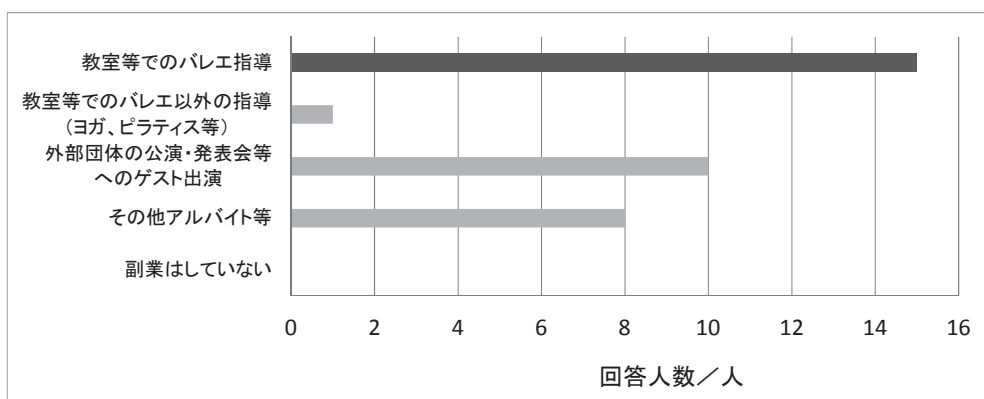


図3. 副業の状況

Q6. 今回のセミナーで参考になった点についてお聞かせください。(自由記入)

A6.

- 確定申告のしくみや基礎に関すること (5件)
- 経費に関すること (考え方、経費にしてよいものの判断等) (5件)
- 控除に関すること (所得税控除、医療費控除等) (3件)
- 書類の記入方法に関すること (記入方法、記入時の注意点等) (2件)
- 青色申告のメリット (1件)

Q7. 日本でバレエダンサーとして活動する上でお困りのことや、今後のセミナーへのご要望、日本バレエ団連盟の事業に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

A7.

- ダンサーとしては生活が全く成立しないので、バレエ界全体として生活が成り立つようにしてほしい。
- 現役を終えた後の転職やサポートがない所。
- 身体のメンテナンス費がかかる点 (ケガしない為のサポートが欲しい)。
- 労災保険がないこと。ケガをした時の復帰方法や手当や助けがあると嬉しい。
- 職業として成り立たない。研究・勉強の機会がない。
- 今回の確定申告セミナーが大変わかりやすく参考になったので、今後も実施してほしい。

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者  
(2018/2019シーズン現在)

---

## 付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者 (2018/2019シーズン現在)

主に海外の国公立劇場のバレエ団、民間の著名バレエ団、有名振付家が率いているバレエ団に所属し活躍しているダンサーについてまとめた。ソリスト級以上または実績のある人を優先的に掲載しているが、カンパニー/個人の知名度、地域性などに応じて異なる場合もある。

※階級制がある場合の最高位 ◆はノーザン国際バレエコンクール入賞者

### 【イギリス】

- ひらの りょういち (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆  
 たかだ あかね (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆  
 チェ ユファイ (英国ロイヤル・バレエ団ファースト・ソリスト) ◆  
 かねこ ふみ (英国ロイヤル・バレエ団ファースト・ソリスト)  
 アクリ 瑠嘉 (英国ロイヤル・バレエ団ソリスト)  
 ささき まりこ (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆  
 かつら ちさと (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト)  
 まえだ さえ (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆  
 なかお たいすけ (英国ロイヤル・バレエ団研修生) ◆  
 ひらた ももこ (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆  
 あつじ やすお (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※  
 みずたに みき (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファースト・ソリスト) ◆  
 ふちがみ れいな (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファースト・アーティスト)  
 くりはら ゆう (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団アーティスト)  
 すぎうら ゆき (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団アーティスト)  
 たかはし えりな (イングリッシュ・ナショナル・バレエリード・プリンシパル) ※  
 か せ しお (イングリッシュ・ナショナル・バレエプリンシパル)  
 さるはし けん (イングリッシュ・ナショナル・バレエソリスト)  
 かねはら りな (イングリッシュ・ナショナル・バレエソリスト) ◆  
 こう せんり (イングリッシュ・ナショナル・バレエジュニア・ソリスト)  
 なかあきれん たろう (イングリッシュ・ナショナル・バレエアーティスト)  
 みやた あやみ (ノーザン・バレエファースト・ソリスト)  
 伊藤 りく (ノーザン・バレエジュニア・ソリスト)  
 あきた みき (ノーザン・バレエダンサー)



## 【フランス】

- オニール<sup>はな</sup>八菜 (パリ・オペラ座バレエ団プルミエール・ダンスーズ) ◆  
藤井<sup>みほ</sup>美帆 (パリ・オペラ座バレエ団カドリーユ)  
長谷川<sup>はせがわ</sup>諒太 (ボルドー・オペラ座バレエ団 コール・ド・バレエ)  
中里<sup>なかざと</sup>佳代 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドゥミ・ソリスト)  
金子<sup>かねこ</sup>稔 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドゥミ・ソリスト)  
丸山<sup>まるやま</sup>一花 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団コール・ド・バレエ)  
小笠原<sup>おがさわら</sup>由紀 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団コール・ド・バレエ)  
加藤野<sup>かとうの</sup>乃花 (マルセイユ・バレエ団)  
木下<sup>きのした</sup>佳子 (マルセイユ・バレエ団)  
南條<sup>なんじょう</sup>健吾 (マルセイユ・バレエ団)  
佐藤<sup>さとう</sup>亜耶 (マルセイユ・バレエ団)  
兼井<sup>かねい</sup>美由季 (バレエ・ビアリッツ)

## 【ドイツ】

- 森田<sup>もりた</sup>愛海 (シュツットガルト・バレエ団プリンシパル) ※  
雨宮<sup>あめみや</sup>瑞季 (シュツットガルト・バレエ団コール・ド・バレエ)  
有井<sup>ありい</sup>舞耀 (ハンブルク・バレエ団ソリスト)  
菅井<sup>すがい</sup>円加 (ハンブルク・バレエ団ソリスト) ◆  
平木<sup>ひらき</sup>菜子 (ハンブルク・バレエ団コール・ド・バレエ)  
菅野<sup>かんの</sup>茉莉奈 (ベルリン国立バレエ団ドゥミ・ソリスト)  
井阪<sup>いさか</sup>友里愛 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)  
川西<sup>かわにし</sup>真理 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)  
杉島<sup>すぎしま</sup>知奈津 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)  
巢山<sup>すやま</sup>葵 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)  
松本<sup>まつもと</sup>有加 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)  
藤本<sup>ふじもと</sup>佳那子 (ドレスデン国立歌劇場バレエ団ファースト・ソリスト)  
門<sup>かど</sup>沙也香 (ヴィースバーデン・バレエ)  
香取<sup>かとり</sup>成和 (ヴィースバーデン・バレエ)  
高田<sup>たかだ</sup>樹 (ヴィースバーデン・バレエ) ◆  
勝木<sup>かつき</sup>萌香 (カールスルーエ・バレエソリスト)  
石川<sup>いしかわ</sup>まどか (ライプツィヒ・バレエ)  
加藤<sup>かとう</sup>静流 (キール・バレエ) ◆  
山本<sup>やまもと</sup>勝利 (アウグスブルク・バレエ)  
中ノ目<sup>なかのめ</sup>知章 (バレエ・アム・ライン)

しみず わたる (エッセン市立バレエ団ソリスト) ※  
 清水 渡  
 よねやま みか (エッセン市立バレエ団ソロ・ミット・グルッペ)  
 米山 美加  
 もり ゆうき (レーゲンスブルク市立歌劇場バレエ芸術監督)  
 森 優貴

## 【オーストリア】

はしもと きよか (ウィーン国立バレエ団ファースト・ソリスト) ※  
 橋本 清香  
 きもと まさゆう (ウィーン国立バレエ団ファースト・ソリスト) ※  
 木本 全優  
 しほもと りかこ (ウィーン国立バレエ団ドウミ・ソリスト)  
 芝本 梨花子

## 【スイス】

おおぬき まさよし (モーリス・ベジャール・バレエ団) ◆  
 大貫 真幹  
 おおはし まり (モーリス・ベジャール・バレエ団)  
 大橋 真理  
 きしもと ひでお (モーリス・ベジャール・バレエ団)  
 岸本 秀雄  
 まえだ めいり (チューリヒ・バレエグルッペ・ミット・ソロ)  
 前田 明里  
 あいざわ ゆみ (ジュネーヴ大劇場バレエ団)  
 相澤 優美  
 しげなり さら (ジュネーヴ大劇場バレエ団)  
 重成 沙羅

## 【イタリア】

かむら ななみ (ミラノ・スカラ座バレエ団登録コール・ド・バレエ)  
 嘉村 菜々美

## 【モナコ公国】

こいけ (モナコ公国モンテカルロ・バレエ団)  
 小池 ミモザ  
 たじまか おり (モナコ公国モンテカルロ・バレエ団)  
 田島 香緒里

## 【スペイン】

おおたに はるひ (スペイン国立ダンスカンパニー ソリスト)  
 大谷 遥陽

## 【オランダ】

おくむら あや (オランダ国立バレエ団ソリスト)  
 奥村 彩  
 さかもと りほ (オランダ国立バレエ団コリフェ)  
 坂本 莉穂  
 いいだり なこ (ネザーランド・ダンス・シアター1)  
 飯田 利奈子

かりや まどか  
刈谷 円香 (ネザーランド・ダンス・シアター I)  
たかうら ゆきの  
高浦 幸乃 (ネザーランド・ダンス・シアター I)  
いしまる  
石丸ニコル (ネザーランド・ダンス・シアター II)  
ふくし すりむ  
福士 宙夢 (ネザーランド・ダンス・シアター II)

## 【ベルギー】

かとうみ きお  
加藤三希央 (ロイヤル・フランダース・バレエ団コール・ド・バレエ) ◆

## 【ルーマニア】

おくの りん  
奥野 凜 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団プリンシパル) ※  
とみおか れみ  
富岡 玲美 (ブカレスト国立歌劇場バレエ団ソリスト)

## 【チェコ】

おぎもと みほ  
荻本 美穂 (チェコ国立バレエ団ファースト・ソリスト) ※  
わたなべ あや  
渡部 綾 (チェコ国立バレエ団ソリスト)

## 【クロアチア】

すずき りえか  
鈴木里依香 (クロアチア国立劇場プリンシパル) ※

## 【スロヴェニア】

なかしま あさみ  
中島 麻美 (スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト) ※  
おおまき ゆうや  
大巻 雄矢 (スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト) ※

## 【スウェーデン】

きだ まりこ  
木田真理子 (スウェーデン王立バレエ団プリンシパル) ※◆休団中  
こだま ほくと  
児玉 北斗 (スウェーデン王立バレエ団ファースト・ソリスト) ◆休団中  
やまぐち まゆみ  
山口真有美 (スウェーデン王立バレエ団ファースト・ソリスト)  
さっさ はるか  
佐々 晴香 (スウェーデン王立バレエ団ファースト・ソリスト)  
にえだ もえ  
贄田 萌 (スウェーデン王立バレエ団セカンド・ソリスト) ◆  
いしだ ひろあき  
石田 浩明 (スウェーデン王立バレエ団セカンド・ソリスト)  
たかはし さとこ  
高橋 聡子 (ヨーテボリ・バレエ)

ふじさわ たくや  
藤澤 拓也 (ヨーテボリ・バレエ)

## 【ノルウェー】

にしのみいこ  
西野麻衣子 (ノルウェー国立バレエ団プリンシパル) ※  
まつい がくろう  
松井 学郎 (ノルウェー国立バレエ団プリンシパル) ※  
いなお よしふみ  
稲尾 芳文 (ノルウェー国立バレエ団バレエマスター)

## 【フィンランド】

まつね はなこ  
松根 花子 (フィンランド国立バレエ団ソリスト)  
こもり まい  
小守 麻衣 (フィンランド国立バレエ団ダンサー)

## 【ポーランド】

えびはら ゆか  
海老原由佳 (ポーランド国立バレエ団ファースト・ソリスト) ※  
かげやま まい  
影山 茉以 (ポーランド国立バレエ団ファースト・ソリスト) ※

## 【トルコ】

おちあい  
落合 リザ (トルコ国立メルスィン・バレエ団)

## 【アメリカ】

おがわ かほ  
小川 華歩 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)  
あいはら まい  
相原 舞 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)  
すみたに けん  
隅谷 健人 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)  
いしはら こと  
石原 古都 (サンフランシスコ・バレエ団ソリスト)  
やまもと はんすけ  
山本 帆介 (サンフランシスコ・バレエ団ソリスト)  
あらい よしひさ  
新井 誉久 (ジョフリー・バレエ)  
いわい ゆか  
岩井 優花 (ジョフリー・バレエ)  
くらなが みさ  
倉永 美沙 (ボストン・バレエ団プリンシパル) ※◆  
かじや ゆりこ  
加治屋百合子 (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※◆  
よしやま  
吉山 シャール・ルイ・アンドレ (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※◆  
いじま のぞみ  
飯島 望未 (ヒューストン・バレエ団プリンシパル)  
ふくだ ゆみこ  
福田有美子 (ヒューストン・バレエ団 コール・ド・バレエ)  
おおぬき まき  
大貫 真希 (ワシントン・バレエ)

みやざき たまこ (ワシントン・バレエ)  
 宮崎 たま子 (ワシントン・バレエ)  
 きむら あやの (ワシントン・バレエ)  
 木村 綾乃 (ワシントン・バレエ)  
 ひだか せな (タルサ・バレエ ソリスト)  
 日高 世菜 (タルサ・バレエ ソリスト)  
 よしだ しゅうへい (タルサ・バレエ ドゥミ・ソリスト)  
 吉田 周平 (タルサ・バレエ ドゥミ・ソリスト)  
 いせだ ゆか (ペンシルバニア・バレエ ソリスト)  
 伊勢田 由香 (ペンシルバニア・バレエ ソリスト)  
 ほりうち げん (セントルイス・バレエ芸術監督) ◆  
 堀内 元 (セントルイス・バレエ芸術監督) ◆  
 しみず けんた (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※◆  
 清水 健太 (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※◆  
 やはた あきみつ (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※  
 八幡 顕光 (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※  
 なかの よしあき (ピッツバーグ・バレエ・シアター プリンシパル) ※  
 中野 吉章 (ピッツバーグ・バレエ・シアター プリンシパル) ※  
 おがち さこ (シンシナティ・バレエ プリンシパル) ※  
 大賀千 沙子 (シンシナティ・バレエ プリンシパル) ※  
 かみくさ よしこ (インディアナポリス・バレエ)  
 上草 吉子 (インディアナポリス・バレエ)

## 【カナダ】

えべ なおや (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ プリンシパル) ※  
 江部 直哉 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ プリンシパル) ※  
 こやすみ よこ (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンド・ソリスト)  
 子安美代子 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンド・ソリスト)  
 こうの まい (レ・グランバレエ・カナディアン ソリスト) ◆  
 河野 舞衣 (レ・グランバレエ・カナディアン ソリスト) ◆  
 すがわら ゆい (レ・グランバレエ・カナディアン ソリスト)  
 菅原 愉依 (レ・グランバレエ・カナディアン ソリスト)  
 みの ようすけ (ロイヤル・ウィニペグ・バレエ ソリスト)  
 三野 洋祐 (ロイヤル・ウィニペグ・バレエ ソリスト)  
 ばん やよい (ロイヤル・ウィニペグ・バレエ ソリスト)  
 伴 弥生 (ロイヤル・ウィニペグ・バレエ ソリスト)

## 【ロシア】

ながひさ めい (マリインスキー・バレエ セカンド・ソリスト)  
 永久 メイ (マリインスキー・バレエ セカンド・ソリスト)  
 いしいく みこ (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 石井久美子 (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 あんざい おりね (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 安齋 織音 (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 ちの まるく (ボリショイ・バレエ アーティスト)  
 千野 円句 (ボリショイ・バレエ アーティスト)  
 たなか みなみ (ミハイロフスキー劇場バレエ コール・ド・バレエ)  
 田中 美波 (ミハイロフスキー劇場バレエ コール・ド・バレエ)  
 こいけ さおり (ロシア国立クレムリン・バレエ リーディング・ソリスト)  
 小池 沙織 (ロシア国立クレムリン・バレエ リーディング・ソリスト)  
 よしだ (モスクワ・クラシック・バレエ)  
 吉田むつき (モスクワ・クラシック・バレエ)  
 なりさわ (モスクワ・クラシック・バレエ)  
 マイカ・成澤ガリムーリナ (モスクワ・クラシック・バレエ)  
 あさい えりか (ロシア国立バレエ・モスクワ)  
 浅井恵梨佳 (ロシア国立バレエ・モスクワ)  
 にしじま はやと (ロシア国立バレエ・モスクワ)  
 西島 勇人 (ロシア国立バレエ・モスクワ)  
 おおつか (ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 大塚カレン (ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ コール・ド・バレエ)  
 たなか じゅんこ (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)  
 田中 順子 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)  
 ながせ ありな (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)  
 永瀬愛莉菜 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)

にしだ さき (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)  
 てらだ みどり (ノボシビルスク・バレエ団ソリスト)  
 おおかわ こうや (ノボシビルスク・バレエ団ソリスト)  
 たくだ さやか (クラスノヤルスク歌劇場バレエ団ソリスト)  
 つちやちとせ (クラスノヤルスク歌劇場バレエ団ソリスト)  
 にしぐち みき (エカテリブルク歌劇場バレエ団リーディング・ソリスト) ※  
 てらだ ともは (エカテリブルク歌劇場バレエ団ソリスト)  
 くわばら まんな (タートルスタン国立カザン歌劇場バレエ団)  
 いわた もりひろ (ブリヤート国立オペラ・バレエ劇場バレエ団芸術監督)  
 うえむら ゆう (ブリヤート国立オペラ・バレエ劇場バレエ団ソリスト)

### 【ウクライナ】

ながさわ みえ (キエフ・クラシック・バレエ)  
 長澤 美絵

### 【ジョージア】

たかの ようねん (ジョージア国立バレエ団リーディング・ソリスト) ※  
 よこやま るいか (ジョージア国立バレエ団ソリスト)  
 わしお かりん (ジョージア国立バレエ団ソリスト)  
 鷺尾 佳凜

### 【ベラルーシ】

まちやま たかとし (ベラルーシ国立ボリショイ劇場バレエ団プリンシパル) ※  
 うらべくりむ 浦邊玖莉夢 (ベラルーシ国立ボリショイ劇場バレエ団ソリスト)

### 【オーストラリア】

こんどう あこ (オーストラリア・バレエ団プリンシパル) ※  
 ねもと りな (オーストラリア・バレエ団ソリスト)  
 やまだ ゆうみ (オーストラリア・バレエ団コリフェ)  
 わたなべ あや (オーストラリア・バレエ団コール・ド・バレエ)  
 のむら ちひろ (ウエスト・オーストラリア・バレエプリンシパル) ※  
 いわもと こうへい (クイーンズランド・バレエシニア・ソリスト)  
 よしだ ねか (クイーンズランド・バレエソリスト)  
 吉田合々香

## 【ニュージーランド】

たにがいと  
谷垣内まゆ（ロイヤル・ニュージーランド・バレエ団プリンシパル）※

## 【韓国】

おお た あり か  
太田 有花（ユニバーサル・バレエ コール・ド・バレエ）  
ながおか ゆ な  
長岡 佑奈（ユニバーサル・バレエ コール・ド・バレエ）

## 【香港】

え がみ ゆう  
江上 悠（香港バレエ団コール・ド・バレエ兼アシスタント・バレエ・マスター）  
ありみず しゅんすけ  
有水 俊介（香港バレエ団コリフェ）

## 【シンガポール】

うち だ ち ひろ  
内田 千裕（シンガポール・ダンス・シアター プリンシパル）※  
なかむら けん や  
中村 憲哉（シンガポール・ダンス・シアター プリンシパル）※

（リスト作成協力：高橋森彦）



---

一般社団法人 日本バレエ団連盟

---

1968年、日本のバレエ界と文化庁を結ぶパイプラインとして「連絡協議会」が組織された際、今後のバレエ界の発展のために自由に討議する場を作ろうという声が上がリ、1971年にスターダンサーズ・バレエ団、チャイコフスキー記念東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団の3団体により「東京バレエ協議会」が結成された。後に東京シティ・バレエ団が加わり、以降バレエ団の枠を超え共通する諸問題に連携して取り組んできた。

2014年9月、東京バレエ協議会4団体に新たに井上バレエ団、小林紀子バレエ・シアター、貞松・浜田バレエ団、法村友井バレエ団が正会員、新国立劇場バレエ団が準会員として加わり「日本バレエ団連盟」が発足。プロフェッショナル・バレエ団を統括する全国組織として、日本バレエ界の更なる発展とその魅力の発信に努めている。

---

平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業  
新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成 報告書



2019年3月発行

編集発行：一般社団法人 日本バレエ団連盟  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階  
Tel: 03-6279-4771 Fax: 03-6279-4772  
URL: <http://japan-ballet.com/>

執筆：井上寛子、尾崎瑠衣、平野綾那、廣瀬智子（五十音順）  
編集協力：高橋雅子  
印刷／製本：株式会社インフォテック

---

本報告書の全部または一部を、著作権法で定められている範囲を超え、無断で複製・転載・公衆送信等を行うことはできません。

非売品